

5月13日(月)

こねこね 粘土あそび



今日の朝の集まりでは、みんなが大好きな『ごきげんのわるいコックさん』(脚本・絵まつい のりこ)の紙芝居を読みました。紙芝居の最後に、コックさんが作ったキャンディーが出てくると「わたしも！たべる！」と前に出てきて取り合うことも…(笑)

みんなもキャンディー作ってみる？
じゃあ、今日は新しい粘土を出して楽しんじゃおう！！



手で温めるだけで柔らかくなり、色が付いているため陰影がはっきりと出ます。自分が作った作品により立体感が感じられる造形粘土。粘土の感触と手応えに、心も解きほぐされる感覚を存分に感じてほしい。偶然にも見える表現にも、こどもたちの無意識の感覚と結びついているのでは？可塑性のある、柔軟性に富んだ粘土だからこそ『活動のねらい』です。

袋から出して一人一つずつ渡すと、匂いをかいだり、頬ずりしたり。粘土の感触やにおい…を感じながら、伸ばしたり、丸めたり…それぞれ好きな物を作り楽しみました！



「キャンディー！」「ゆきだるま！」「かたつむり」などなど作った作品を友達と見せ合うこどもたち。伸ばしたり丸めたり…色々な形に変身する粘土って面白いね！☺